



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例会日

1989. 4 . 18

累計 No 119

当年 No 40

会長／梨本清一

幹事／今井克義

SAA／米山忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：卓話「朗読奉仕のつわぶきの会」つわぶきの会代表 捧典子様

出席：本日の出席 46名中34名

先週の出席率 46名中39名 84.78%

先週のメイクアップ：4月5日 三条RCへ 村山誠一君

4月12日 三条RCへ 羽賀一夫君

4月17日 三条南RCへ 中條耕二君 高橋彰雄君

4月17日 那覇南RCへ 山口龍二君

ビジター：三条RCより 渡辺惣吉君 古沢富雄君 堀川政雄君

三条南RCより 野崎正信君 韭沢喜一郎君

会長挨拶：梨本清一

今年は「我がクラブ始まって以来の…」という言葉を経験した感じが致しますが、今日もまた、その言葉を使うことが出来ます。本日のゲストスピーカーは、我がクラブ始まって以来の女性の講師であります。ただ私は単純に女性を珍らしがるという気持は毛頭ないのですが、妻であり、母親であり、職業人であり、更に世のため他人のために一生懸命ご奉仕を続けておられる素晴らしい女性が、ようこそ我が北RCにおいで戴いた、という意味で、今日は記念すべき例会になりそうであります。新らためてご紹介申し上げます。つわぶきの会代表の捧典子さんでいらっしゃいます。捧材木店、三条スイミングクラブの経営もご主人と共にたづさわっておいでです。もう1つご紹介致しますと、捧さんは私と中学時代の同期生であります。ご長男はいま三条JCで活躍されておりますが、彼と初めて会った時、「君が捧君かい、お姉様はお元気ですか」と間違っていました。やはり人生に目標をもって毎日毎日を一生懸命生きておられる方は常にお若く、美しいですね。捧さんご自身のことについてはこれからのお話の中で拝聴させて頂きたいと存じます。ここで、目のご不自由な方がお使いになる盲人用録音テープをお買い求め頂きますようささやかではありますが、寄贈させて頂きたいと思います。どうぞお受取り下さいます様お願い申し上げます。

何1つ解っていなかった自分に気づきました。そしてとても恥ぢ入りました。そしておつきあいを重ねるうちに、椅子に掛けて頂く時はまづ声に出して伝え、相手の手を椅子の背にさわらせてやる。そうすれば1人で座ることが出来るとか、ご本人で出来ることはおせっかいに手出しをしないなど、除々に解るようになりました。皆さまの中には、盲人とのおつきあいは経路済みでよくご承知の方もいらっしゃると思いますが“あなたの盲人へのエチケット”がありましたので今日はコピーして参りました。お配りしますのでご覧になって下さい。健常者である私達には、あたり前のことが大変不自由であったり、好意で手を貸してあげたいと思うことがその方法を誤りますとご本人の自立をさまたげたりプライドを傷つけたりすることが多くあると聞きます。健常者も、障害者もさりげなく温かい心を通い合せて仲よく交際するためのどうぞ参考になさって下されば幸いです。又、先月末のことこんなことがございました。お仲間の外山愛子さんが俳句誌の録音テープを頼まれて吹き込み、下田で針灸マッサージをされている高山仁さんにお届けしましたら、早速礼状にそえて“つわぶき讃歌”の歌詩が送られてきました。感謝の詩をご紹介するのは何かおこがましい気も致しますが、1番だけ読ませて下さい。“可隣に寄り添うつわぶきの花の香りは博愛の虹をテープに乗せて来て暗をまさぐる我らを手びく朗読奉仕の支えあり”3番までありまして、只今高山さんの友人のエレクトーン奏者である新津の土屋さん（盲人の方）が作曲をして下さっているそうです。唄いやすい美しいせん律をつけて下さるとのことです。歩み出して5年、子供なら幼稚園通いが終り、ようやく学令期。読む技術はまだまだですが、テープを聴く人の反響に耳を傾けながら、ますます本の読み込みを深め「奉仕する分だけ私達も目の不自由な人達に勉強させてもらっている」全部自分に返って来んだわね」と話して、実感しています。録音テープ作りを認め、かつ協力してくれる夫をはじめ家族に心から感謝し、今日また、北ロータリーの皆さまから盲人用テープ購入の多額のご援助を頂きました。感謝しております。本当に有がとうございました。最後に厚かましいお願いを1つ、ロータリーの皆さまの奥様方から私共の“つわぶきの会”に仲間入りをさせて頂きたいのです。腹式呼吸で声を出しますと、お腹が空いてとても健康的、その上ゆっくりとやわらかい話し方がコントロール出来るようになります。動物の言葉で愛を伝えることの出来るのは人間だけあります。たぶん、私も皆さまも死の直前まで家族や他の誰かと言葉を交わし、生きることの満足感を与えられ続けることと思います。年とれば耳も遠くなります。発声とコントロールする優しい思いやりを言葉、行動と共に歯切れよくさわやかに伝えることが出来たら家族も自分もどんなにかしあわせにふれることでしょう。どうぞ皆さま、朗読ボランティアをする結果、“話し方”という素敵なプレゼントが頂けます。入会のPRを是非お願い致します。大切なお時間を頂きましたのに、うまくお話が出来なくて申し訳ありませんでした。ご清聴ありがとうございました。

4月25日例会：コロニー白岩の里慰問 夕日をめでる会

5月2日例会：クラブフォーラム

幹事報告： 今井幹事

◇伊勢崎RCより10周年記念式典のご案内

日時 11月5日 会場 伊勢崎市文化会館

◇新発田RCより第36回県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会のご案内

日時 5月12日(金) 場所 紫雲ゴルフクラブ

◇村山誠一君から結婚祝いのお返しに三省堂の大辞林を頂戴しました。

◇次年度役員・理事・委員会が決まりました。

ニコニコBOX：

吉川 吉彦 君 先般、おかげさまで三菱樹脂㈱との業務販売提携いたしました。今後共、皆様よろしく御指導下さい。

卓 話：「朗読奉仕のつわぶきの会」つわぶきの会代表 捧 典子様



只今は、北ロータリークラブの皆さまより私達つわぶきのささやかな活動に対して、盲人用録音テープのご援助を頂きまして、誠に有がとうございます。盲人用のテープは今まで全てつわぶきの会で用意してきましたが、再利用する度にすれて、前の吹込みがすけて出て来る。新しいのが使えるのは大変ありがたい。こうして陰からのご理解、応援に励まされ、ねばり強くしっかりスクラムを組んで朗読奉仕を続けて参りたいと思います。・ご親族に視覚障害者がいらっしゃるか、挙手して下さい。・朗読奉仕活動についての講話・活字を与えら

れば簡単に引受けられるが、自分の言葉で説明、話すのは大変苦手。ましてや社会でご活躍、国や地域に大きな貢献されている皆さまの前でささやかなボランティア活動を浩げることなどとても出来ない。“私達は視覚障害者、目の不自由な人達への理解者になりたい。どんなにか不自由であろうかと想像するばかりで実際のところさっぱり解りません、是非話をして下さい” ようやく重い腰をあげ勇気をふるい起して参りました。大切なお時間を頂いてもお聞き苦しく、興味を持って頂けますかどうか。一方法は2つあるー“点訳” “音声訳”(1)点字 手で触れて。(2)音声訳 録音テープに活字を読み込み、再生して聞く。中途失明者。交通事故一労働災害事故で失明者がふえ、点字を修得されていない盲人が多くなっている現状、音声訳の希望が増す方向にある。要望に答えて録音テープの図書づくりに励むのが朗読ボランティア。朗読ボランティアグループ “つわぶきの会” (三条市の社会福祉協議会からボランティアグループとして公認) S58、9／7～11月 3ヶ月間。朗読奉仕養成講座が県央地区は三条で開催と、社団法人、新潟県身体障害者団体連合会の主催三条新聞に受講生募集がのりました。私は即、三条市の社会福祉課に申込みの電話を入れました。子供の時から読書好き、一番好きなことで誰かのお役に立つ、そして聞いて下さった誰かと読書の感動を分かちあえる。これだ!!先へ行って仕事をやめたらこれをやろう。それにはまずこの講座を受

けること、湧き立つ思いで申込みをしました。S58.9月2日忘れもしません、よく覚えております。この申込みが考えの浅い私の苦難の第一歩となってしまいました。3ヶ月の講座が進むにつれ、私などが他人に本を読んでお聞かせすることなどとうてい出来ないこと、勉強していくうちに大変身の程知らずの挑戦をしてしまったことが解り、がく然と致しました。それでもNHKのアナウンサーの指導で声の出し方、呼吸法、間のとり方など習い無事終了しました。その時もっと勉強を続けたい、養成講座だけでは朗読奉仕などおぼつかないと熱心な受講生が15～16名集って “つわぶきの会” が誕生、S59年60年とNHK深谷武アナウンサーの指導を受け、先生にもう大丈夫と1人立ちをすすめられ月2回、三条市立図書館で勉強会を持っております。同じ道を歩む者同志和気あいあいの気どらないおつきあいで、お花見、秋、紅葉狩りと弁当持参。新年会は少々強勢に親睦会をしたり、楽しい仲間づくり、最も信頼出来る友達関係が生れています。録音図書製作について。・盲人用テープの説明・郵送袋の説明・身体障害者福祉協会盲人部県支部長の永井昭二さんへ届け、ダビング。これが何本にもダビングされて協会員に配られます。新聞でも下読みを2回～3回、人名、地名、むつかしい漢字にルビをふり、息を切る所、間をあけるとところに赤エンピツで記をつけ下準備の出来たところで読む。肩の力を抜き楽な姿勢で、腹式呼吸でゆっくりやります。それでも体調が悪いととちったり、読み違えたり、自動車の音や、犬の泣き声、小鳥のさえずりなど、雑音が入ったり致します。“どんな上手な方が読んでも誤りがあるのがあたりまえ、めげずに読み読けて下さい” と盲人協会の皆さんから励ましの声援がまいります。協会の皆さんに今一番読んでほしいのはとお聞きますと。①、三条新聞無題録②、越後ジャーナル全紙③、読売新聞家庭版④、暮らしの手帳抜すい記事。その他俳句誌、文学書、ノンフィクション、等々。“文学書、学術書は県や国の点字図書館で借りられますが、町の話題とか、地方行政のこと、たった今、世の中がどう動いているか知りたい、とおっしゃいます。今、読んで流しているものをここで説明すること。日本点字図書館、県の点字図書館、プロ級の読み手が聞きやすく上手に読んでいるが、新しいニュース、今話題の作品などとずっと遅れてでないと手に入らない。週間誌など一番人気があるそうですが、三条の協員の話ですと、昨年のも、丁度1年前の録音テープしか手に入らないんだそうです。つわぶきでもゆくゆくは、皆さんの要望に答えて、週間誌にも手を延したいと話しております。私ごとですが、盲人の方におつきあいが始ったころのつわぶきの会が発足して丁度1年が経った時の失敗談をひとつ。市の視覚障害者を囲む会をつわぶき会主催で致しました時のこと。お茶、お菓子を用意、会は順調に運び話がはずみました。そして、お茶とお菓子を並べて、どうぞどうぞ召上って下さいとおすすめしても手をおつけにならない、遠慮か緊張かそれともお嫌いかととても気になりました。付添っていた夫人が盲人のご主人の手に湯飲みをのせてあげ “お番茶ですよ” と渡されました。私は、見ていてあっと気がつきました。“どうぞ味噌まんじゅうを召上って下さい” と私が女性の手のにぎりこむようにお渡ししましたら、“ああ味噌まんじゅうですか、私大好きです。ビニールの包みは自分ではがしますから” とおっしゃって、とても美味しいと食べて下さいました。この1件は “私は盲人の為に朗読奉仕をなどと言いながら、目の不自由な方達のことは